

平成 27 年度（通算第 16 回）長崎自然共生フォーラム通常総会

開 催 報 告

日時：平成 27 年 7 月 25 日（土）15:00～17:20

場所：嬉野市嬉野町大字下宿丙 28 山水グローバルイン

（TEL 0954・42・4020）：1 階ホール

議長：会長 宮原和明氏

（長崎総合科学大学名誉教授・NPO 環境カウンセリング協会長崎理事長）

開会に先立ち、蒲原事務局長より会員 38 名中、出席者 28 名（うち委任状 18 名）との具申があり、本総会は成立することを確認した。3 名の一般参加があった。

開会挨拶（会長）：日本造園学会長崎大会の折り、上杉元県自然環境課長（現・環境省関東地方事務所長）のお声かけで、県造園建設業協会の皆さんの参加より当フォーラムは発足したが、現在、市民活動団体を目指して努力している。会員は皆忙しいので、それぞれが無理のないよう、最後にいたるまで頑張っていきたい。

出席者(会員)：石橋、蒲原、川里、菅、鈴木、為永、中瀬、早瀬、宮原、山本

(一般)：上田、酒井、杉山

(五十音順)

○ 議事録

<第 1 号議案> 会員状況報告について（蒲原事務局長）

平成 26 年 6 月 8 日現在、正会員は 38 名であり、うち会費未納会員は 1 年分 1 名、2 年分 5 名、3 年分 1 名との報告があった。 (了承)

<第 2 号議案> 平成 26 度事業報告について（川里運営委員）

以下、資料により、口頭説明。

○総会及び運営委員会・幹事会

平成 26 年 4 月 25 日（金）17:30 から、ECAN 会議室で運営委員・幹事会を開き、総会日程および基調講演について協議した。総会は 6 月 27 日（金）16:00 からセントラルホテル佐世保で、基調講演の演者は森林関係者（事務局長一任）に決めた。

当日は、セントラルホテル佐世保：1 階会議室において、27 名（うち委任状 15）の出席を得て、総会が行なわれた（15:00～16:00、議長 宮原会長）。

幹事会・総会では、26 年度の目標事業である、県民参加の森づくり再生計画（農林省補助事業 7 月～8 月、於：旧ながさき自然休養林）について蒲原事務局長及び富永監事から内容説明があった。このほか Save Japan project（8 月 2 日、於：多良岳）への協賛・協力が承認された。

○基調講演

豊澤健太氏（特定非営利活動法人：地域循環研究所）による“森林・山村の多面的機能発揮対策”（：長崎県の森林対策事業と補助金申請情報）をお願いした。レジュメのほかパワーポイントによって懇切丁寧に、とくに申請テクニックなど詳しい話をいただいた。（16：45～17：30）

○交流会

総会に引き続き、同室で豊澤講師を交えて総会以上の熱気で盛り上がった。

イノシン問題や里山について、外来種除去作業の公表、ホテル情報の発信（大村での見学会等）や農業体験による自立修練事業など、活発な意見交換があった出席者は13名（宮原会長、早瀬・松田副会長ほか、蒲原、神山、菅、川里、来崎、田雑、富永、中瀬、西田、の各氏であった。五十音順）

（なお、会場・懇親会などについては、田雑氏並びにセントラルホテル佐世保様に大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。）

○研究会

- ・ 長崎県生物学会総会・講演会に出席。講演：長崎県における水中に生息する蘚苔類。（新原・中西こずえ）（1/12、川里）
- ・ ECAN(環境カウンセリング協会長崎)主催【環境ひろば】メルカ築町。講演：おひさまネットの仕組みについて（演者：宮原会長、1/21 鈴木・川里）
- ・ ECAN(環境カウンセリング協会長崎)主催【環境セミナー】メルカ築町。講演①：再生可能エネルギー「コミュニティ・ハッピーソーラー」（豊岡和美：徳島地域エネルギー事務局長）②小水力発電による地域活性化（島谷幸宏：九州大教授・環境工学）【パネルディスカッション】：低炭素で豊かな地域づくりに向けた再生可能エネルギーの推進（宮原会長がコーディネーター、早瀬副会長がパネリストとして討論が行われた。パネリストには原 亮弘：おひさま進歩エネルギー（株）代表取締役、田中義人 総科大副学長の2氏が加わった。（3/15、鈴木・川里）
- ・ 県自然環境課主催【ながさき生物多様性フォーラム】に参加。（長崎会場：ワシントンホテル、講演：生物多様性を考える：井田徹治氏・脇山順子氏）（1/26、川里）
- ・ メルカつきまち・6Fホールで、「再生可能エネルギー推進フォーラム in 長崎」があり、宮原、早瀬両氏がパネリスト・コーディネーターとして出演。3名の地域エネルギーの専門家が話題提供し、パネルディスカッションが行われた。（3/15、鈴木・川里）
- ・ 5月23日（金）～25日（日）西日本短期大学（福浜キャンパス）において、（公益社団法人）日本造園学会全国大会が開催された。大会テーマは“競争から連携へ”～空間・時間・技術をつむぐ地域独自文化の活用と創造～で、フォーラム「地域文化をつなぐランドスケープ」（コーディネーター：蓑茂寿太郎一財・公園財団理事長）があり、100名ほどの聴衆があった。また公開シンポジウム「基調講演「地域独自文化で“おもてなし”～九州の魅力をつなぐ政策と経営を考える～もあった。ここでは平戸市教委・文化遺産課植野氏の話題提供があった。（川里）

○その他

- ・ 県補助事業「緑といきもの賑わい事業」：大村・郡川中流部における郷土風景の保全事業（外来種等除去作業及び生物多様性調査）を実施し、知事あて成果報告書を提出、チェックを受けた。3ヶ年継続したので（7月～12月、総事業費303千円×3ヶ年）。財政は少額だが健全化した
- ・ Save Japan Project：「多良岳の自然を外来種から守ろう！」（7/20）と、「オオキツネノカミソリ」（8/3）の2行事を、“とりかぶと自然学校”（株・エコシステム）と共催した。
- ・ ECAN主催の環境ひろば（講師：宮原 ECAN 理事長、本会会長）に参加した。
- ・ ニュースレター第17号（平成27年2月1日付）を発行した。

（了承）

<第3号議案> 平成26年度決算報告について

平成26年収支決算を下記のとおり、報告します。

| | | | | |
|------|-----|----------|--------|-----------|
| 一般会計 | 決算額 | 188,723円 | （次期繰越額 | 134,183円） |
| 特別会計 | 決算額 | 0円 | （次期繰越額 | 0円） |

（承認）

<第4号議案> 平成26年度監査報告について

平成27年6月29日（月）、幹事会に先立ち長崎市五島町3-3-206（プレジデントビル内）ECAN会議室において平成26年度収支決算について監査を実施した結果、すべて適正に処理されていることを認めました（鈴木監事）。

（承認）

<第5号議案> 平成27年度事業計画（案）について

1. 事業活動について・・・前年度は、会員の強みや得意分野を活かした事業を確保することとしていましたが、実現できませんでした。会員が提案する事業にこれまで通りトライし活動活性化のきっかけとし、又他団体事業への協力やコラボを目指すこととする。そのためにはコラボ情報を事務局から会員にタイムリーにメール発信することとする。
2. 運営委員会、幹事会について・・・年2回程度定期的を開催する。特に他団体の講演会や研究会への参加機会に企画開催する。
3. 研究会活動や交流会について・・・会員の学びの場として年1回程度講演研究会を開催する。また今年度は造園学会九州支部研究発表会が11月14日（土）に長崎大学で開催されるので会員参加の呼びかけと交流をはかる。
4. 長崎県環境課との交流の機会をつくる・・・長崎自然フォーラムの組織づくりのきっかけを考えたとき、長崎県生物多様性等の施策勉強会や講演会を通して交流の機会をつくる。特に会員事業所等の若者人材育成、行政と県民・市民や事業所との協働進化の場づくりを目指す。
5. 会員情報誌のニュースレターの充実と発行に取り組む。

（承認）

(事業計画) H27 年度 (予定)

| 月 | 行事または事業 |
|------|--|
| 4 月 | HP の保守・改訂, 幹事会 |
| 5 月 | 「ニューズレター」(第 18 号)の発行 |
| 6 月 | 長崎県・長崎市環境月間 |
| 7 月 | 「ノーマイカーデー」(毎月第 2 水曜日)への参加, 事業申請 幹事会・総会及び講演会(於: 山水グローバルイン) 他団体「雲仙ミヤマキリシマ下草刈りボランティア」とコラボ |
| 8 月 | Save Japan Project の実施、Mail-network の作成 |
| 9 月 | Save Japan Project の実施、Mail-network の作成 |
| 10 月 | 研究会, 長崎市エコライフフェスタ(水辺の森公園) |
| 11 月 | 7 日(土)、8 日(日)県総合住宅フェア(大波止おくんちひろば) 14 日(土)造園学会九州支部研究発表会(於: 長崎大学) 15 日(日)ノーマイカーとくとくさるく 片淵町心田庵等見学 |
| 12 月 | 「ノーマイカーウィーク」(12/8~12/14)参加宣言 |
| 1 月 | 研究講演会(長崎県自然環境課)運営委員会、幹事会 |
| 2 月 | |
| 3 月 | |

(承認)

<第 6 号議案> 平成 27 年度予算(案)について

平成 27 年収支予算を下記のとおり、提案します。

一般会計 予算額 194,183 円

特別会計 予算額 0 円

(予備費に 102,183 円を計上する)

| | | | | | |
|----|------|---------|----|----|---------|
| 収入 | 繰越金 | 134,183 | 支出 | 報償 | 20,000 |
| | 会費収入 | 60,000 | | 需要 | 10,000 |
| | | | | 役務 | 39,000 |
| | | | | 会議 | 18,000 |
| | | | | 予備 | 102,183 |
| | 計 | 194,183 | | 計 | 194,183 |

(承認)

<第 7 号議案> その他

- ・森林・山林対策協議会との連携を強化する
- ・学生とのコラボで受益団体(補助金受入れ団体としての)をつくり、竹林整備や竹細工イベントを行う。そのための定款の変更を検討する
- ・業界ボランティアとして堤防道路に球根植え付け: ヒガンバナを実施した。
- ・役員の追加・・・石橋会員→運営委

(承認)

(15:05 終了)

○基調講演：環境アセスメント（環境社会配慮）に対する期待～早瀬隆司
（NL18号で詳述予定）

○交流会

参加者温泉浴の後、同室において総会以上の熱気で、交流会は盛り上がった。参加者は13名であった（17：50～19：40）。

以上